

特別講演

子どもの参加を支える DCD支援 と CO-OP (コアップ) アプローチ ～ 飛騨市の取り組みから ～

「できない」を支えるのではなく、
「やってみたい」を支える

講演内容

- ・発達性協調運動障害(DCD)の理解と支援
- ・CO-OPアプローチの基本的な考え方と実践
- ・飛騨市における学校作業療法の取り組み
- ・「参加」を支える環境調整と合理的配慮 等

日時

2026年

9/27(日)

9:30～12:00

(受付 9:00～)

会場

美幌町民会館
中ホール
(3階)

美幌町
東2条北4丁目9番地

対象

教員・教育関係者
幼児・児童支援に
携わる方 等

参加費

無料
定員200名
(先着順)

塩津 裕康 先生 (しおづ ひろやす)

名古屋市立大学 医学部保健医療学科
リハビリテーション学専攻 講師

日本人初のICAN認定CO-OPインストラクター。発達性協調運動障害(DCD)や学校作業療法を専門とし、CO-OPアプローチを活用した実践・研究・人材育成に取り組む。飛騨市をはじめ全国で学校作業療法の普及に携わり、教育・医療・福祉の連携を推進。

著書

『子どもの「できた!」を支援するCO-OPアプローチ』できるを増やそうよ 学校作業療法 HIDAモデル』など。



お申し込みフォーム 締め切り9/18(金)

<お問い合わせ>

美幌療育病院 中山 雄介 y-naka@bihoro-ryoiku.jp